

日大の事例は、たくさん  
の問題をはらんでいる。パ  
ワーハラスメント、指導者  
の資質、そして選手が主体  
的に考えて行動できるかど  
うか。私は現在コーチの育  
成に取り組んでおり、指導  
者のありかたについて、も  
っと焦点を当てるべきだと  
感じている。

指導者の最大の使命は、  
選手が持っている力をどれ  
だけ引き出すかということ  
だと思う。教育することを  
表す「エデュケイト」は元  
々、相手の力を引き出すと  
いう意味がある。自分の言  
うことをどれだけ選手にや  
らせるかという思考から、  
どれだけ選手が持っている  
力、考えを引き出せるか、と  
いうところにシフトしないと  
指導法は変わっていかない。  
選手自身の自主性を育て  
るにはどうするか。過去  
の成功にとらわれずに常に  
考え、学ぶ姿勢が望ましい。  
ただ、経験のある指導者  
が指示をし、それに従えば  
勝った時代は確かにあっ  
た。従う人間にとっても楽

## 力を「引き出す」のがコーチ

だし、成果も出る。スポー  
ツは勝敗を競うことが大前  
提のため、そのやり方で実  
際に成果を上げることが全  
面否定することは難しい。  
今回の日大の問題では、選  
手にも、本来やりたくない  
行為を行ったことに対する  
責任はある。本人だけでな  
く、それ以外の選手もそう  
だ。ただ、指示通りに動き、  
うまくいった経験を重ねて  
きた選手に、これは嫌だと  
言える強さと周りの環境が  
あったかどうか。

日大関係者に限らず、全  
ての指導者が再考してほし  
いことがある。俯瞰的に見  
ている指導者が現場の選手  
に寄り添い、意見を交わし  
ているだろうか。コーチが  
選手の力を引き出し、選手  
がコーチの力を引き出すと  
いう関係がベストで、指導  
者が学ぶためには、実は心  
地悪さも体験しないとけ  
ない。本当のことを言われ  
ると人間はざわつくが、選  
手の声を真摯に受け止め  
て、切磋琢磨できるかが大  
事だ。指導者側の意識改革  
が一番求められている。教  
えるだけではなく指導者  
が、学ぶということをごれ  
だけ意識するか。世界でも  
いい指導者、コーチと呼ば  
れる人はいい教育者、先生  
になると言われている。

(運動部 清水暢和)

なかたけ・りゅうじ 早大  
ラグビー部監督としてチーム  
を2年連続大学選手権優勝に  
導いた。日本ラグビー協会コ  
ーチングディレクターを務め  
る。45歳。



中竹竜二氏

スポーツコーチング  
Japan代表理事

時代の成功体験が、世代の記  
憶として染みついてきた。頑  
張れば何とかなる、やっただ

は現役を終えても、その世界  
にずっと関わっていく。私も  
選手たちに、名前を公表して